

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

萬法は無門より出ず



高木聖雨先生

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。

ばんばつ
萬法は無門より出ず

サ

フ

門

ハ

生

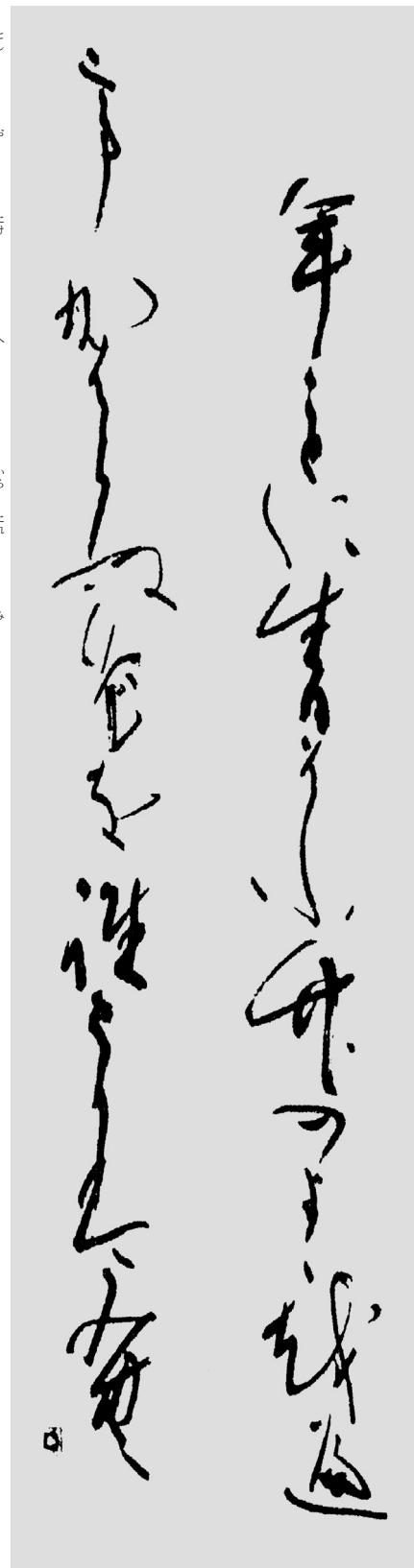
高木聖雨先生

条幅かな

条幅規定

C部（二段以下）

A部（準五段以上）
B部（四段～準三段）



集字聖教序（東晉・王羲之）

八藏三篋之文波濤於口海爰自所歷之國

浮 乘 清 鄉 先 生



倫聰亮之姿踰今邁昔信
法徒之冠冕釋氏之

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(11月10日締切)

半紙規定(一)

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。



[この課題を同月の半紙随意には出品出来ません]

(11月10日締切)

半紙規定(二)

清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔一級以下〕楷書

九成宮醴泉銘（唐・歐陽詢）



・山を移し澗を廻らし、泰を窮め
・

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕

(11月10日締切)

条幅参考本

南登杜陵上北望五陵間秋

水明落日流光滅遠山

長
澤
豐
雲
先
生

南登杜陵上 北望五陵間
秋水明落日 流光滅遠山

南のかた杜陵の上に登り 北のかた五陵の間を望む
秋水落日に明らかに 流光遠山に滅す

主幹菅野翠濤

乾坤有精物至寶無文亦雕琢
琢為世器真性一朝傷

乾坤有精物 至宝無文章 雕琢為世器 真性一朝傷

乾坤精物有り、至宝にして文章無し、雕琢して世器と為す、真性一朝の傷。

条幅参考手本

大井岳陵先生

窓戸迎新燕
階除集乳鶴
欲知春已暮
地上亦無花

窓戸新燕を迎え 階除乳鶴を集む 春すでに暮るるを知らんと欲すれば 地上亦花無し

久保田 悠山先生

窓戸迎新燕

階除集乳鶴 欲知春已暮 地上亦無花

地上亦花無し

けり鳴立つ澤の秋の夕暮
身にあはれは知られ
けり 鳴立つ澤の秋の夕暮
西行のうた

心なき身にもあはれは知られけり鳴立つ澤の秋の夕暮 (西行)

半紙かな（初段以上）

埋火のほかに心はなけれどもむかへば見ゆる白鳥の山（香川景樹）

支部名 段 姓 号
(鉛筆可)

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
※ちらし文字変換は自由。

浮 乗 清 鄉 先 生

埋火

の

火

火

の

口

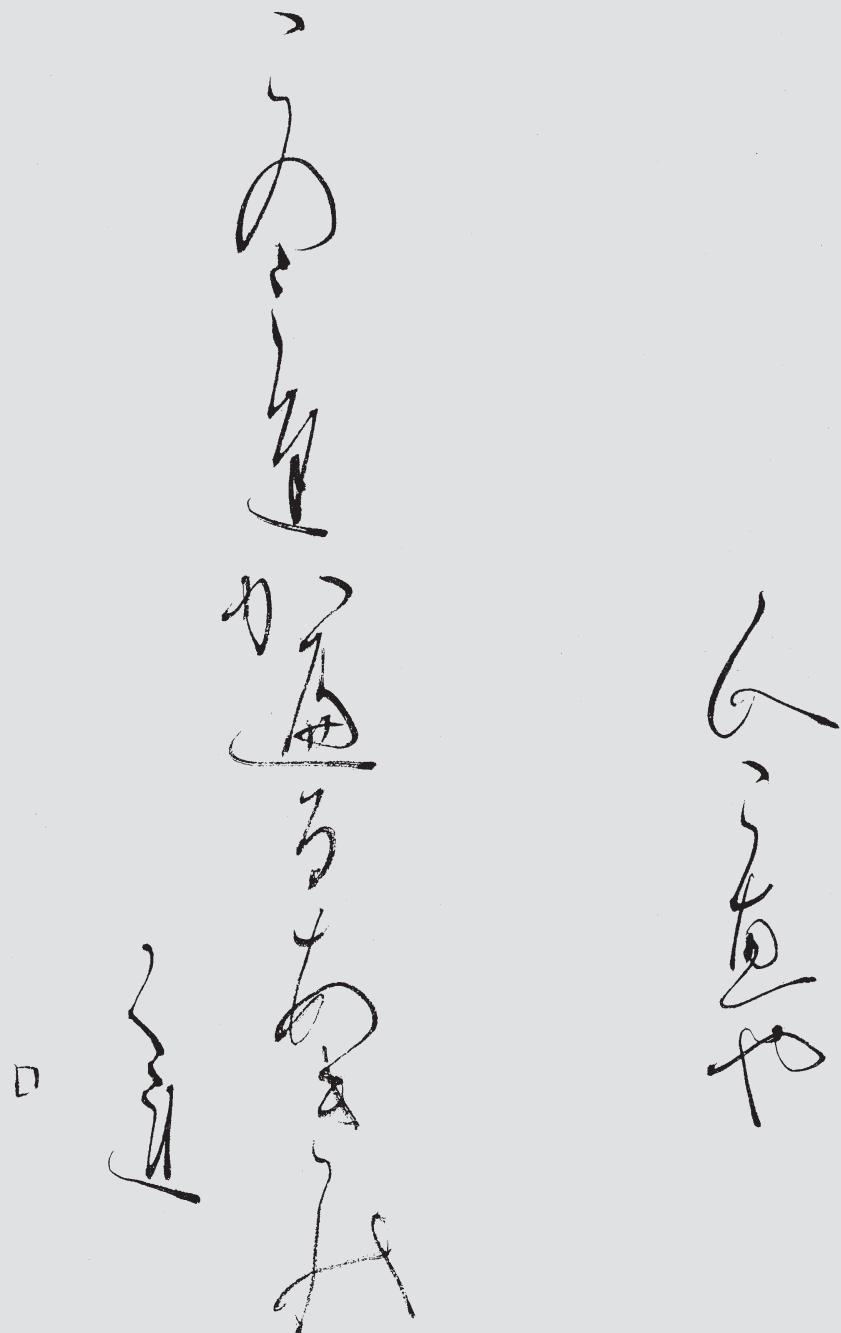
(11月10日締切)

半紙かな（1級～8級）

人声
や此道かへる秋のくれ
（松尾芭蕉）

支部名 級 姓 号
(鉛筆可)

*支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。
*ちらし文字変換は自由。



若月久美子先生

(11月10日締切)

実用文（準三段以上）

主幹 菅野翠濤

蒼とうたう竹林に圍まれたせせらぎの
鐘の音がはるかに聞えて来る。日暮
れ時、笠を背に負い、夕日を浴びな
がら、青々とした山へ獨り歸つて
かかる後姿が遠ざかる。

支教

あ

姓

弓

〈書風任意〉

劉長卿の詩 送靈澈上人 より

…囲まれた竹林寺…日暮れ時、笠を背に…浴びながら…山へ獨り歸つて行かれる…

(11月10日締切)

実用文（二段以下）

大越三宗先生

この度縁あて手より書きためて
参りました。作品を皆様方にご披露
させて頂く事となりました。稚拙な
ものですが是非お立ち寄り下さい

支部名

段級

姓

号

〈書風任意〉
かねて
予より…

(11月10日締切)

細字

高須翠雲書「五體昭和千字文」より
P20

叢そう 杜と

林りん 鶲けん

くさむら、はやし。
ほととぎす。

※一級～八級は草書まで。 初段以上は隸書まで。

隱いん

巢そう

かくれた鳥の巣。

支部

段級

姓

号

杜 鶲 叢 林 隱 巢 底 護
鶲 叢 林 隱 巢 底 護
叢 林 隱 巢 底 護
林 隱 巢 底 護

名前は必ず楷書
17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

(11月10日締切)

硬筆（初段以上）

本院定型用紙一枚に書く

秋は…長く…読書には…明るい燈の下に腰を据え、…魅力です。

支那名

系

姓

秋は夜が長く涼しいので寝方に
は絶好の季節。ぬるい燈の下に
寝を拯え、虫の音を聞きながら
うとうと本を読むのは本好き
にはたまらない魅力です。

青 柳 江 雲 先 生

(11月10日締切)

硬筆（4級以下）

支部

級

姓

号

纖維質を豊富に含む「ゴボウ」ですが、
食すのは、日本人だけだそ�うです。

本院定型用紙・たて半分に書く

齋 藤 翡 流 先 生

硬筆（1級～3級）

支部

級

姓

号

纖維質を豊富に含む「ゴボウ」ですが、
食すのは、日本人だけだそ�うです。

齋 藤 翡 流 先 生

中2用

支部名

段級

名

前

自然の
野生の

渡邊南嶂先生

中3用

支部名

段級

名

前

万里の
長城の

小6用

支部名

段級

名

前

の落葉山

渡邊南嶂先生

中1用

支部名

段級

名

前

中庭の草花

—18—

渡邊南嶂先生

(11月10日締切)

小4用

支部名

段級

名前

札幌時

大越三宗先生

小5用

支部名

段級

名前

利水用の

—19—

大越三宗先生

(11月10日締切)

小2用

支部名

段級

名前

リムスギ

鈴木翡翠先生

小3用

支部名

段級

名前

ちかだ

鈴木翡翠先生

(11月10日締切)

中 1

読書、
食欲の秋でもある。
スポーツ、
芸術

中 2

昨夜の強風もおさまり
今朝は青空になつた。

中 3

国際的な視野を持つ人
間に成長してほしい。

小1・幼年用

支部名

段級

名前

はや
かず
さわ

中1～中3

青 柳 江 雲 先 生

(11月10日締切)

小1・幼年

ぱゆうやけぞらがる。
いにひろがる。いつ

小 2

青い空には、お日さま
がかがやいて、いる。

小 3

夕日をあびて、雲が赤
い色にそまつている。

小 4

ふく風に、さわやかな
秋の色が感じられる。

小 5

秋に入つたら、
数が多くなつてきただ。

小 6

秋風が、今年も木の葉
を鳴らしていきます。

小1～小3

鈴木蕙翠

先生

小4～小6

田辺翠鶴

先生

(11月10日締切)

小学部かな課題

支部名

段級

名

前

秋深し
山道歩く

主幹 菅野翠濤

季語=「けふの月」

はげしい風が野の草を吹き分け、あたりが暗くなると、その草の中から中秋の名月
が上がってくる、の意。

中学部かな課題

支部名

段級

名

前

草の中よ

今日の月

あらへ吹く

参考手本

※これは規定課題ではありません。

淡然として世榮を忘る

世 淡然
榮 忘る

成瀬映山先生